

◆ 0 のかけ算



おはじきで点とり遊びをしたら、右のようになりました。
とく点を調べましょう。

入ったところの点 × 入った数 = とく点



① 4 点のところのとく点は、

$$4 \times \boxed{} = \boxed{}$$

4 点の☆には、
3 こ入ったから…。



② 2 点のところのとく点は、

$$2 \times \boxed{} = \boxed{}$$

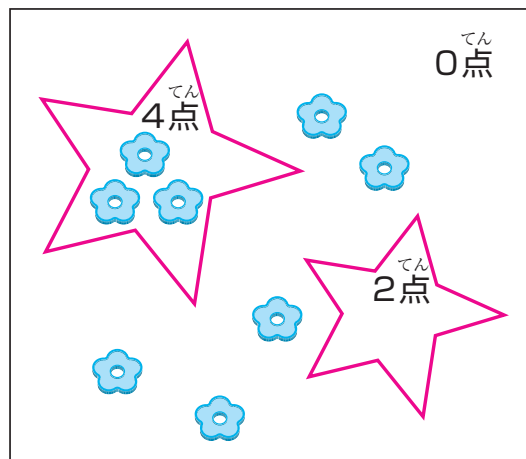
③ 0 点のところのとく点は、

$$0 \times \boxed{} = \boxed{}$$

④ 4 点, 2 点, 0 点のところのとく点の合計は、

$$\boxed{} + \boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

どんな数に 0 をかけても、
答えは 0 になるよ。
0 にどんな数をかけても、
答えは 0 になるよ。





◆かけ算のきまり

7×4 の答えをわすれてしまいました。

どのようにすれば、7×4 の答えを見つけられるでしょうか。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

7	7	14	21		35	42	49	56	63
---	---	----	----	--	----	----	----	----	----



7×3 = 21 だから…。

7×4 の答えは、7×3 の答えより

大きいので、

$$21 + \boxed{} = \boxed{}$$

となります。



7×5 = 35 だから…。

7×4 の答えは、7×5 の答えより

小さいので、

$$35 - \boxed{} = \boxed{} \text{ となります。}$$

かける数が1ふえると、答えは
かけられる数だけ大きくなるよ。
かける数が1へると、答えは
かけられる数だけ小さくなるよ。



九九の表										
	かける数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18	
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36	
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54	
7	7	14	21		35	42	49	56	63	
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72	
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81	

九九の表										
	かける数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18	
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36	
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54	
7	7	14	21		35	42	49	56	63	
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72	
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81	

$$7 \times 4 = \boxed{} \times \boxed{} \text{ だから、} 7 \times 4 \text{ の答えも } \boxed{}$$

となります。



かけられる数とかける数を入れかえて
計算しても、答えは同じだから…。

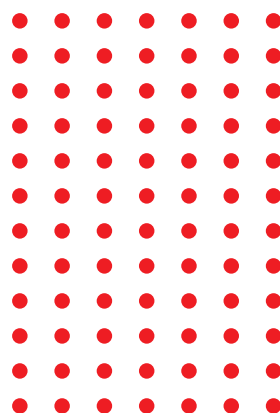


こう交かんのきまりというよ。

3 年	名	
	組 前	



右の図を使って、 12×7 の答えのもとめ方を考えましょう。



① かけられる数の 12 を 6 と 6 に分けて、

$$12 \times 7 = (6 \times 7) + (6 \times 7)$$

$$= \boxed{} + \boxed{}$$

$$= \boxed{}$$

② かけられる数とかける数を入れかえて計算しても答えは同じだから、

$$12 \times 7 = 7 \times 12 \text{ になり、かける数の } 12 \text{ を } 10 \text{ と } 2 \text{ に分けて、}$$

$$7 \times 12 = (7 \times 10) + (7 \times 2)$$

$$= \boxed{} + \boxed{}$$

$$= \boxed{}$$



かけられる数やかける数を分けて計算しても、答えは同じになることを、分配のきまりというよ。



◆何十、何百のかけ算

30×4 の計算のしかたを考えましょう。

$$30 \times 4 = \boxed{120}$$



10 のまとまりが (3×4) ぶん。



300×4 の計算のしかたを考えましょう。

$$300 \times 4 = \boxed{1200}$$



100 のまとまりで考えると…。



◆ 3 つの数のかけ算

花を 4 本ずつたばにして、1 人に 2 たばずつ配ります。
5 人に配るとき、花は全部で何本いるでしょうか。

- ① 1 人分の花の本数は、どんな式でもとめられるでしょうか。

$$\square \times \square = \square$$

- ② 5 人に配る花の本数は、どんな式でもとめられるでしょうか。

$$\square \times \square = \square$$

答え

- ③ ①と②を 1 つの式で表すと…。

$$\square \times \square \times 5 = \square$$

- ① 5 人分の花たばの数は、どんな式でもとめられるでしょうか。

$$\square \times \square = \square$$

- ② 5 人に配る花の本数は、どんな式でもとめられるでしょうか。

$$\square \times \square = \square$$

答え

- ③ ①と②を 1 つの式で表すと…。

$$4 \times (\square \times \square) = \square$$

前からじゅんにかけても、後の 2 つを先にかけても、
答えは同じになることを結合のきまりというよ。



◆ かけ算を使って

$\square$ にあてはまる数の見つけ方を考えましょう。

① $6 \times \boxed{4} = 24$

② $\boxed{5} \times 3 = 15$

$$6 \times \boxed{1} = 6$$

$$6 \times \boxed{2} = 12$$

$$6 \times \boxed{3} = 18$$

$$6 \times \square = 24$$

と、6 のだんの九九をと覚えて
いけば見つけられるね。



$$\boxed{2} \times 3 = 6$$

$$\boxed{3} \times 3 = 9$$

$$\boxed{4} \times 3 = 12$$

$$\square \times 3 = 15$$

と、かける数が 3 のかけ算で
見つけられるね。

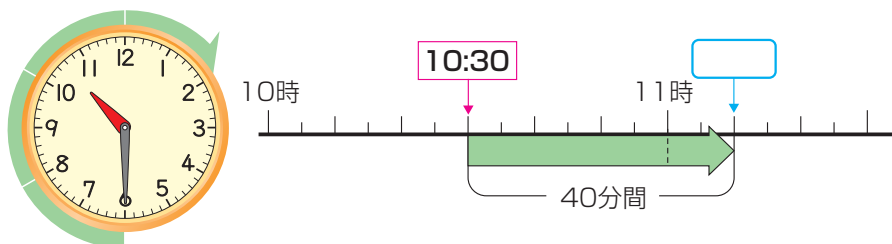


3 年	名	
	組 前	



にあてはまる言葉や数を書きましょう。

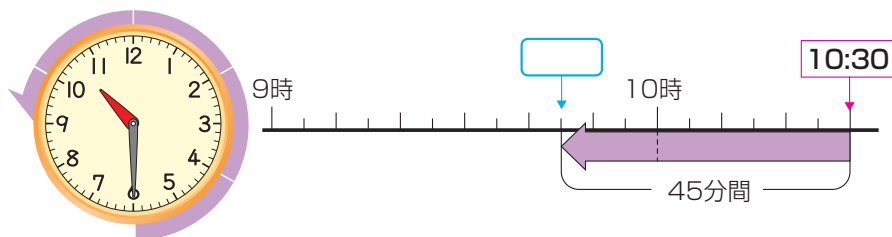
- ① 午前 10 時 30 分から 40 分後の時こくは何時何分でしょうか。



1 めもりは何分間を
表しているかな。

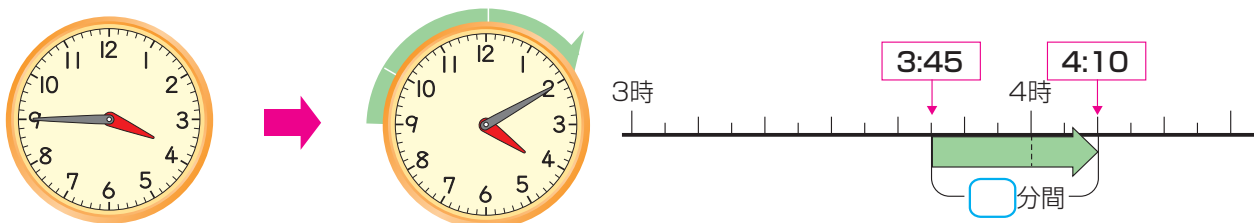
答え

- ② 午前 10 時 30 分の 45 分前の時こくは何時何分でしょうか。



答え

- ③ 午後 3 時 45 分から午後 4 時 10 分までの時間は何分間でしょうか。



答え

- ④ 1 分より短い時間をはかるには, という単位を使います。

1 分間 = 秒

◆ 327 + 265 の筆算

① 一の位の計算

$$7 + 5 = 12$$

		1	
	3	2	7
+	2	6	5
			2

一の位からじゅんに
計算するよ。



筆算のつづきを
やってみよう。

② 十の位の計算

一の位が 10 より大きくなったので、

十の位に 1 くり上げます。

$$\text{くり上がり} \quad \underline{1} + 2 + 6 = \boxed{}$$

③ 百の位の計算

$$\boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

◆ 867 + 486 の筆算

① 一の位の計算

$$7 + 6 = 13$$

		1	
	8	6	7
+	4	8	6
			3

② 十の位の計算

一の位が 10 より大きくなったので、十の位に 1 くり上げます。

$$\boxed{} + \boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

③ 百の位の計算

十の位が 10 より大きくなったので、百の位に 1 くり上げます。

$$\boxed{} + \boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

④ 百の位が 10 より大きくなったので、千の位に 1 くり上げます。

◆ 7186 + 2745 の筆算

	7	1	8	6
+	2	7	4	5

けた^{すう}数が大きくなっても、
一の位^{くらい}から位^{くらい}ごとに計算^{けいさん}
すればいいね。



◆ 練習

① 369 + 412

+			

② 278 + 645

+			

③ 479 + 123

+			

④ 586 + 14

+			

⑤ 679 + 543

+			

⑥ 976 + 44

+			

⑦ 6217 + 2569

+				

⑧ 4653 + 1372

+				

⑨ 3785 + 5396

+				

3 年	名	
	組	前

◆ 463 - 237 の筆算

① 一の位の計算

3 から 7 はひけないので、十の位から
1 くり下げて、ひきます。

$$13 - 7 = 6$$

		5	13
	4	6	3
-	2	3	7
			6

② 十の位の計算

一の位に 1 くり下げたので、十の位の
ひかれる数は 5 になります。

$$\square - \square = \square$$

③ 百の位の計算

$$\square - \square = \square$$

一の位からじゅんに
計算するよ。



ひっさん
筆算のつづきを
やってみよう。

◆ 835 - 457 の筆算

① 一の位の計算

5 から 7 はひけないので、十の位から
1 くり下げます。

$$15 - 7 = 8$$

		12	
	7	2	15
	8	3	5
-	4	5	7
			8

② 十の位の計算

一の位に 1 くり下げたので、十の位のひかれる数は 2 になります。
2 から 5 はひけないので、百の位から 1 くり下げて、ひきます。

$$\square - \square = \square$$

③ 百の位の計算

十の位に 1 くり下げたので、百の位のひかれる数は 7 になります。

$$\square - \square = \square$$

3 年	名	
	組 前	

◆ 704 - 587 の筆算

① 一の位の計算

4 から 7 はひけないので、十の位から 1 くり下げて、ひきます。

$$14 - 7 = 7$$

	6	9	14
	7	0	4
-	5	8	7
			7

② 十の位の計算

一の位に 1 くり下げたので、十の位のひかれる数は 9 になります。

$$\square - \square = \square$$

③ 百の位の計算

十の位に 1 くり下げたので、百の位のひかれる数は 6 になります。

$$\square - \square = \square$$

◆ 1458 - 725 の筆算

① 一の位の計算

$$\square - \square = \square$$

② 十の位の計算

$$\square - \square = \square$$

③ 百の位の計算

4 から 7 はひけないので、千の位から 1 くり下げて、ひきます。

$$\square - \square = \square$$

	1	4	5	8
-		7	2	5

14 - 7 の答えは、どこに書けばいいのかな。



◆ 4581 - 1379 の筆算

① 一の位の計算

1 から 9 はひけないので、十の位から
1 くり下げて、ひきます。

$$\boxed{} - \boxed{} = \boxed{}$$

			7	11
	4	5	8	1
-	1	3	7	9

② 十の位の計算

一の位に 1 くり下げたので、十の位のひかれる数は 7 になります。

$$\boxed{} - \boxed{} = \boxed{}$$

③ 百の位の計算

$$\boxed{} - \boxed{} = \boxed{}$$

④ 千の位の計算

$$\boxed{} - \boxed{} = \boxed{}$$

4 けた - 4 けたでも、同じ
ように計算できるかな。



◆ 練習

① 579 - 182

-			

② 340 - 76

-			

③ 803 - 468

-			

④ 2187 - 859

-				

⑤ 4312 - 1789

-				

⑥ 6007 - 729

-				



◆ 4 こずつ分ける

クッキーが 12 こあります。

1 ふくろに 4 こずつ入れると、何ふくろできるでしょうか。

- ① 12 コのクッキーを 1 ふくろに 4 こずつ入れると、 ふくろに分けられます。

- ② このことを式で、

$$\square \div \square = \square$$

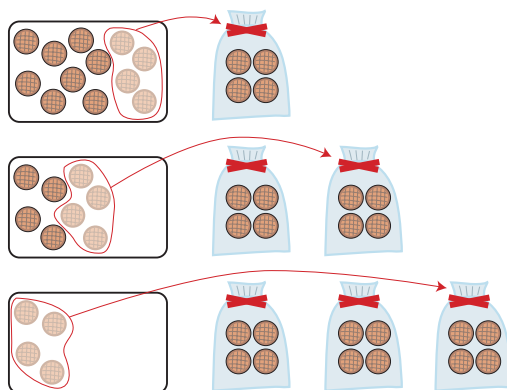
と書きます。

- ③ このような計算を といいます。

- ④ $12 \div 4$ の答えは、 $4 \times \square = 12$ の にあてはまる数です。

$$12 \div 4 = \square$$

答え

1 ふくろ 4 こ入りのクッキーが ふくろで 12 こ…。

$$4 \times \square = 4$$

$$4 \times \square = 8$$

$$4 \times \square = 12$$



◆ 4 人で分ける

クッキーが 12 こあります。

4 人に同じ数ずつ分けると、1 人分は何こになるでしょうか。

- ① 12 コのクッキーを 4 人で同じ数ずつ分けると、1 人分は こになります。

- ② このことを式で、

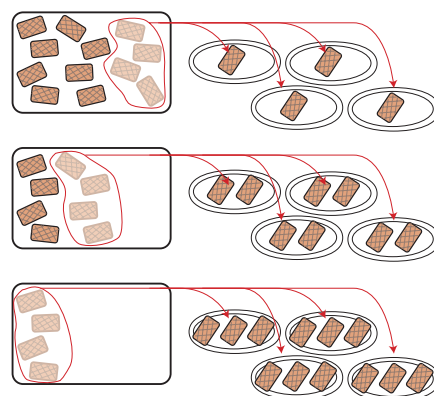
$$\square \div \square = \square$$

と書きます。

- ③ $12 \div 4$ の答えは、 $\square \times 4 = 12$ の にあてはまる数です。

$$12 \div 4 = \square$$

答え



$$1 \text{ 人分の数} \times 4 = 12$$

だから…。

$$\square \times 4 = 4$$

$$\square \times 4 = 8$$

$$\square \times 4 = 12$$



$12 \div 4$ の答えは、4 のだんの九九を使ってもとめられるね。



◆ 0 や 1 のわり算

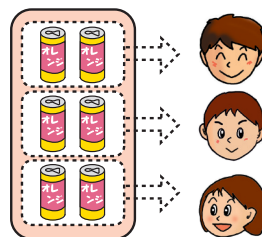
ジュースを 3 人で同じ数ずつ分けます。

ジュースの数が 6 本、3 本、0 本のとき、1 人分は何本になるでしょうか。

- ① ジュースが 6 本のとき

$$6 \div 3 = \square$$

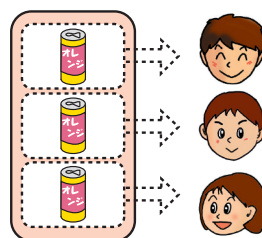
こた
答え



- ② ジュースが 3 本のとき

$$3 \div 3 = \square$$

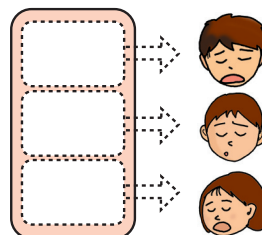
こた
答え



- ③ ジュースが 0 本のとき

$$0 \div 3 = \square$$

こた
答え



◆ 練習

- ① 次のわり算をしましょう。

① $6 \div 2$

② $10 \div 5$

③ $28 \div 4$

④ $24 \div 8$

⑤ $8 \div 1$

⑥ $42 \div 6$

⑦ $35 \div 7$

⑧ $72 \div 8$

⑨ $7 \div 7$

⑩ $0 \div 6$

⑪ $63 \div 9$

⑫ $36 \div 4$

- ② あめが 27 こあります。

3 人で同じ数ずつ分けると、1 人分は何こになるでしょうか。

しき
式

こた
答え

- ③ 花が 48 本あります。

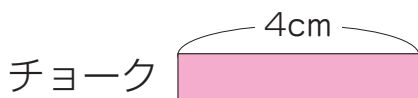
1 人に 6 本ずつ分けると、何人に分けられるでしょうか。

しき
式

こた
答え

◆倍の計算

えんぴつの^{なが}長さは 16cm です。チョークの^{なが}長さは 4cm です。
えんぴつの^{なが}長さは、チョークの^{なが}長さの^{なんばい}何倍でしょうか。



式 $\square \div \square = \square$

$\square$ の^{なが}長さが
 $\square$ の^{なが}長さの
いくつ^{ぶん}分かもとめるから…。

何^{なんばい}倍かは、わり算で
もとめられるよ。

こた
答え $\square$

◆九九をこえるわり算

$80 \div 4$ の^{けいさん}計算の^{かんが}しかたを考えましょう。

$80 \div 4 = \square$

10 のま^{かんが}とまりが
8 こと考えると…。

$84 \div 4$ の^{けいさん}計算の^{かんが}しかたを考えましょう。

$84 \div 4 = \square$

くら^い位ごと^{かんが}に考えると、

$84 \div 4$
 $\begin{array}{c} 80 \quad 4 \end{array}$

$80 \div 4 = \square$
 $4 \div 4 = \square$

◆練習

① $80 \div 2$

② $30 \div 3$

③ $63 \div 3$

④ $86 \div 2$

⑤ $39 \div 3$

⑥ $44 \div 4$

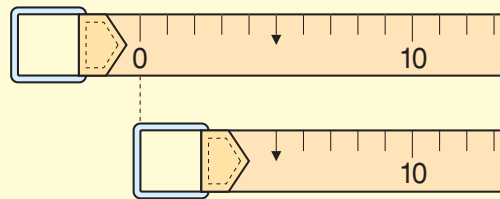


◆まきじゃく

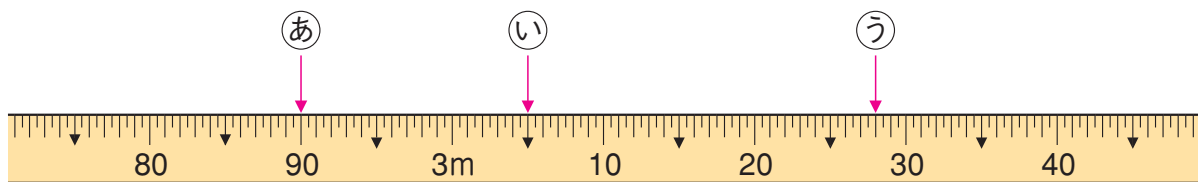
まきじゃくの^{つか}使い方^{かた}をおぼえましょう。

① 1 m より^{なが}長いところの^{なが}長さをはかるときや、^{まる}丸いところの^{なが}長さをはかるときには、を^{つか}使うとべんりです。

② まきじゃくを^{つか}使うときには、
0 の^{めもり}めもりのいちに^{つか}気を^{つか}つけて
使^{つか}い^{つか}ま^{つか}し^{つか}ょう。



③ 下の^ああ、^いい、^ううのところの^{なん}めもりは何 m 何 cm でしょうか。



あ

い

う

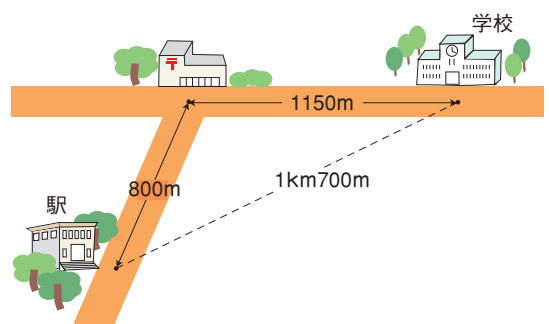
◆道のりときより

① 道に^{みち}そって^{なが}はかった^{なが}長さを といいます。

② まっ^{なが}すぐには^{なが}かった^{なが}長さを といいます。

③ 1000m を 1 キロメートルといい、1 と^か書^かきます。

④ 右の図で、学校から^{えき}駅までの^{きより}きよりは、
 です。



⑤ 右の図で、学校から^{えき}駅までの^{みち}道のりは、
何 ^{なん}km 何 ^{なん}m でしょうか。

1 km 150m + 800m =



◆整理のしかた

学校の前の道で乗り物調べをしたところ、次のようなけっかになりました。
このけっかを、表に整理しましょう。

乗用車 正 下	オートバイ 正 T	バス 正 一	トラック 正
パトカー T	タンクローリー T	きゅうきゅう車 一	

- ① 「乗用車」、「オートバイ」、「バス」、「トラック」は、それぞれ何台でしょうか。「正」の字を数字になおして、下の表に書きましょう。
- ② 台数が少ない「パトカー」と「タンクローリー」と「きゅうきゅう車」は、「その他」にまとめました。「その他」は何台でしょうか。
- ③ 合計は何台でしょうか。

$$8 + 7 + \boxed{} + \boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

の 乗り物調べ

しゅるい	乗用車	オートバイ	バ ス	トラック	その他	合 計
台数 (台)						



◆ぼうグラフのよみ方

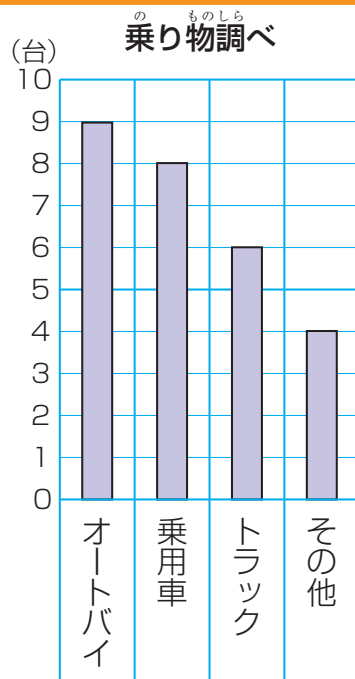
べつの道で乗り物調べをしたけっかを、次のようなグラフに整理しました。
グラフを見て、 にあてはまる言葉や数を書きましょう。

- ① 右のようなグラフを、 といいます。

- ② たてのじくの 1 めもりは、 台を表しています。

- ③ いちばん多い乗り物はオートバイで 台です。

- ④ オートバイは乗用車より 台多いことや、乗用車はトラックより 台多いことがわかります。



3 年	名	
	組 前	



◆ぼうグラフのかき方

下の表は、3 年生全員が 1 つずつすきな動物を書いて、しゅるいごとに整理したものです。これを、ぼうグラフに表しましょう。

すきな動物調べ

しゅるい	犬	うさぎ	ね こ	ハムスター	その他
人数 (人)	14	12	10	8	9

ぼうグラフのかき方

① たてのじくに、メモりの数と単位を書きます。

② 表を見ながら「しゅるい」を書きます。

「その他」は、数が多くてもいちばんさい後に書くよ。



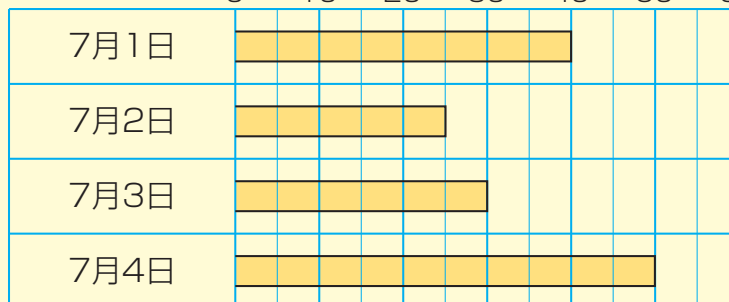
③ 人数に合わせて、ぼうをかきます。

④ 表題を書きます。

☐ ()

読書をした時間

0 10 20 30 40 50 60(分)



ぼうグラフは、ぼうを横にかくこともあります。

また、1 メモりの大きさが、1 ではないときもあります。

3 年	名	
	組 前	



◆くふうした表

3 年生で好きなスポーツのしゅるいを調べたところ、右の表のとおりになりました。
この表について調べましょう。

- ① 1 組でいちばん好きな人が多いスポーツは、
□ です。
- ② 野球が好きな人は、1 組には □ 人、2 組には □ 人、3 組には □ 人います。
- ③ ドッジボールが好きな人は、1 組には □ 人、2 組には □ 人、3 組には □ 人います。
- ④ 1 組の人数は □ 人、2 組の人数は □ 人、3 組の人数は □ 人です。



右の 3 つの表を、下のような 1 つの表にまとめました。この表について調べましょう。

- ① ㊦には、1 組で □ が好きな人の人数が入ります。
- ② ㊩には、野球が好きな人の □ の人数が入ります。
- ③ ㊵には、□ 組の □ の人数が入ります。
- ④ 表をかんせいさせましょう。

好きなスポーツ (1組)

スポーツ	人数(人)
サッカー	12
野 球	10
ドッジボール	7
その他	6
合 計	35

好きなスポーツ (2組)

スポーツ	人数(人)
サッカー	8
野 球	11
ドッジボール	6
その他	9
合 計	34

好きなスポーツ (3組)

スポーツ	人数(人)
サッカー	10
野 球	9
ドッジボール	10
その他	5
合 計	34

3年生の好きなスポーツ (人)

スポーツ	1 組	2 組	3 組	合計
サッカー	12			
野 球	㊦			㊩
ドッジボール				
その他				
合 計		㊵		

組ごとのようすだけでなく、
学年全体のようすもひと目でわかる表になるね。





◆あまりのあるわり算

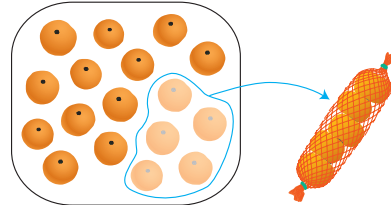
みかんが 17 こあります。1 ふくろに 5 こずつ入れると、何ふくろできる
 でしょうか。また、何こあまるでしょうか。

① ふくろの数とこのりの数を調べましょう。

・ ふくろの数が 1 つのとき

$$5 \times 1 = 5$$

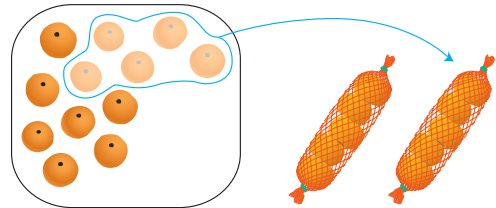
$$17 - 5 = \boxed{}$$



・ ふくろの数が 2 つのとき

$$5 \times 2 = 10$$

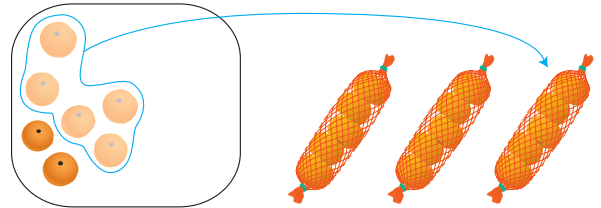
$$17 - 10 = \boxed{}$$



・ ふくろの数が 3 つのとき

$$5 \times \boxed{} = 15$$

$$17 - 15 = \boxed{}$$



もう分けられないね。

② 17 個のみかんを 1 ふくろに 5 個ずつ入れると、

$\boxed{}$ ふくろに分けられて、 $\boxed{}$ 個のこりです。

このことを式で、次のように書きます。

$$\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{} \text{ あまり } \boxed{}$$

答え $\boxed{}$ ふくろできて、 $\boxed{}$ こあまる。



③ 答えのたしかめをしましょう。

5 個ずつ入れたふくろが $\boxed{}$ ふくろできて、 $\boxed{}$ こあまるので、
 みかんの数はぜんぶで 17 個です。

このことを式に表して計算すると、わり算の答えのたしかめができます。

$$5 \times \boxed{} + \boxed{} = 17$$



◆あまりはどうする

りんごが 34 こあります。1 箱に 6 こずつ入れていきます。
りんごを全部箱に入れるには、何箱いるでしょうか。

① 式に表すと、 $\square \div \square = \square$ あまり $\square$

② りんごが 6 こ入った箱が $\square$ 箱できて、
あまった 4 こを入れる箱が $\square$ 箱いるから、
答えは $\square$ 箱です。

あまりを入れる
箱もひつようだね。



◆練習

① 計算をしましょう。また、答えのたしかめをしましょう。

① $21 \div 8$

② $38 \div 7$

③ $19 \div 4$

④ $61 \div 9$

⑤ $47 \div 5$

⑥ $52 \div 6$

⑦ $20 \div 3$

⑧ $75 \div 8$

⑨ $13 \div 2$

② 子どもが 27 人います。1 この長いすに 4 人ずつすわっていきます。
全員がすわるには、長いすは何こいるでしょうか。

式 $\square \div \square = \square$ あまり $\square$

答え $\square$

③ はばが 35cm の本立てがあります。

この本立てに、あつさ 4cm の本を入れていきます。

本は何さつ入るでしょうか。

式 $\square \div \square = \square$ あまり $\square$

答え $\square$



◆一万をこえる数

一万をこえる数の表し方やしくみを調べましょう。

			一 万				—
の 位	の 位	の 位	の 位	の 位	の 位	の 位	の 位
1	2	0	6	4	1	0	1

① 上の にあてはまる位の^{くらい}名前を^{なまえ}書きましょう。

② 一万の位の^{くらい}6 は、 が6 こあることを^{あらわ}表しています。

③ 上の数を^{かず}漢字で^{かんじ}書き^かましょう。

万

④ 百四万七千五百二十三を^{すうじ}数字で^か書くと です。

⑤ 1000 が 10こで

1万 が 10こで

10万 が 10こで

100万 が 10こで

⑥ 1000 万を5 こと、100 万を2 こと、10 万を4 こと、1 万を3 こあわせた^{かず}数は です。

10000 より大きい数 ②

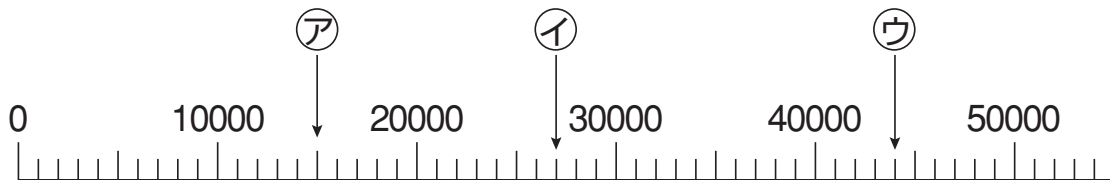
(教科書 111 ～ 112 ページ)

3 年	名	
	組	前



下のような数の線を といいます。

この数直線を見て、数の大きさを調べましょう。



① いちばん小さい 1 めもりの大きさは、 です。

② ア, イ, ウの表す数を書きましょう。

ア イ ウ

③ 140000 は 10000 を こあつめた数です。また、1000 を こあつめた数です。

1000 が 10 こで 10000,
1000 が 100 こだと…。



0 を消して
かんが
えろと…。



14	0000
1	0000
140	000
1	000



にあてはまる不等号か等号を書きましょう。

① 20000 200000

② 67498 69523

③ 30000 10000 + 20000

④ 80 万 90 万 - 8 万



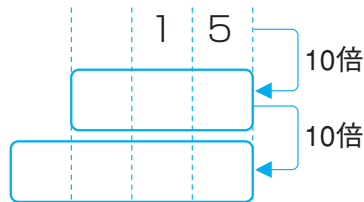
◆ 10 倍の数, 100 倍の数, 10 でわった数

にあてはまる数を書きましょう。

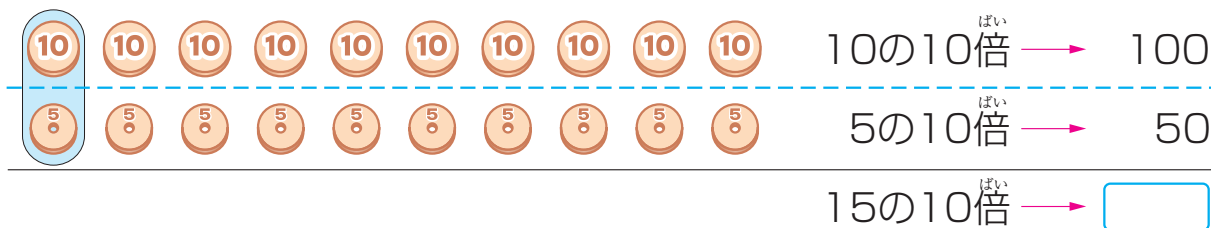
①

15を10倍した数

150を10倍した数



10 倍すると, 0 を 1 つつけた数になるね。

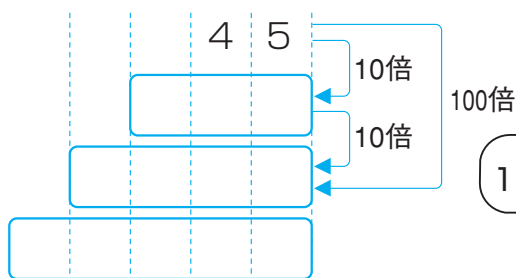


②

45を10倍した数

45を100倍した数

45を1000倍した数

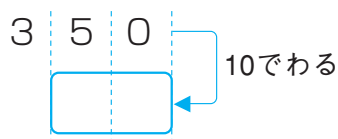


10 倍の 10 倍は 100 倍。



③

350を10でわった数



10 でわると, 0 を 1 つとった数になるね。



1000 万を 10 こあつめた数について調べましょう。



1000 万を 10 倍した数を といい, と書きます。



◆円や球のしくみ

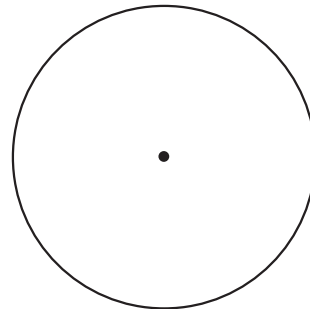
下の円や球を調べて、 にあてはまる言葉や数を書きましょう。

- ① 円のまん中の点を、円の といいます。
- ② 円の中心から円のまわりまでかいた直線を といいます。
- ③ 円の中心を通って、円のまわりからまわりまでかいた直線を といいます。
- ④ 1つの円の直径の長さは、半径の長さの です。

- ⑤ 右の円に半径をいくつもかいて、
長さをはかりましょう。

どの半径の長さも です。

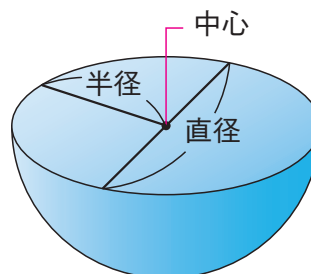
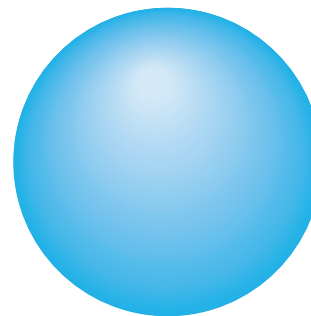
- ⑥ 直径が16cmの円の半径は、
 cm です。



- ⑦ どこから見ても円に見える
形を といいます。

- ⑧ 球を切った切り口の形は、
 になります。

- ⑨ 球の中心、半径、直径は、
球を に切った
切り口の の中心、
半径、直径です。

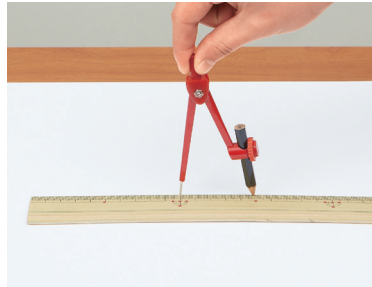


- ⑩ 直径が12cmの球の半径は、
 cm です。

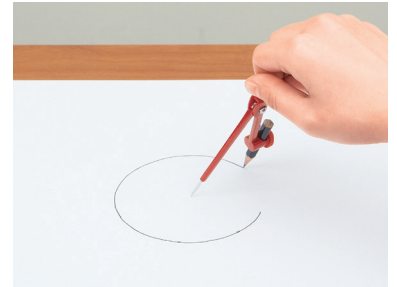


下の円のかき方をよく見て、円のかき方を練習しましょう。

コンパスの上の部分^{ぶぶん}を軽く
つまむといいよ。
コンパスを^{かいてん}回転させる^{ほう}に、
いつも^{すこ}しかたむけながら
^{まわ}回すとうまくかけるよ。

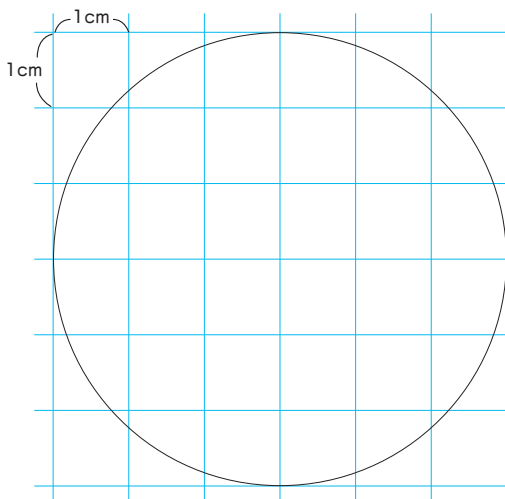


① 半径^{はんけい}の長さ^{なが}に開く^{ひら}。



② ななめにかたむけて
ひとまわりさせる。

① 半径^{はんけい}が 3cm の円をかきましょう。



② 下の 3 つの円をかきましょう。(円の中心^{ちゅうしん}は同じ^{おな}です。)

